

能登町での「プレーパーク（冒険遊び場）」の定期開催

一般社団法人みらいのともしび

木工・土遊び・焚き火—プレーワーカーと創る、自由な遊び場



能登町崎山中央公園・柳田植物公園

事業の目的・背景

PURPOSE & BACKGROUND



背景

インフラ復旧が進む一方、子どもたちが「ありのまま」でいられる日常的な遊び場や、学校・家庭以外のサードプレイスの定着が依然として課題となっている。



目的

震災体験による心理的ストレスの潜在化や、地域コミュニティの希薄化による体験機会の格差を解消するため、プレーワーカーとともに、子どもの「やりたい」を安全かつ最大限尊重できる遊び場を定期的に提供する。

対象

未就学児、小学生

実施予定場所

能登町崎山中央公園
能登町柳田植物公園

開催時期・回数

R8年9月・10月・11月・12月
計4回

具体的な活動内容

ACTIVITIES



木工



土遊び



焚き火



廃材利用の工作



シャボン玉



ボール遊び



- 一般社団法人プレーワーカーズとの協働で、遊びの専門家「プレーワーカー」を招聘、配置することで、子どもが安心・安全に遊べるよう配慮する。
- 「何を、どうやって遊ぶか」を自分で決めるプロセスを大切に、子どもたちの「やりたい」を安全に、かつ最大限に尊重する。

連携団体・自治体

COLLABORATION



連携団体

連携先

- 一般社団法人プレーワーカーズ
- 能登町にプレーパークをつくる会

連携が必要な理由

冒険遊び場づくりに関する知見の活用、プレーカー（遊び道具を積んだ車両）の持ち込み、地域内のプレーパークへの認知向上とプレーワーカーの育成のため。

連携内容

一般社団法人プレーワーカーズから、当日プレーワーカー1名を派遣する。



連携自治体

連携先・部署

- 能登町役場健康福祉課児童福祉係
- 能登町教育委員会

連携が必要な理由

町・学校経由の広報と、常設型プレーパークの設置検討への協力を得るため。

連携内容

町のSNSを通じた広報、小学校からのチラシ配布、常設型プレーパークの設置に向けた検討を行う。